

重複癌(中咽頭癌に重複した食道癌)の治療遅れについて

当センターに通院し、治療継続中の50代・女性の患者について、昨年5月に、中咽頭癌と食道癌の重複癌(*)を認めたため、まず中咽頭癌に対する化学放射線治療を施行し、同治療が終了して早期に食道癌の治療を行う予定であったが、食道癌の治療開始が本年1月まで遅れてしまったことが判明いたしました。

*重複癌とは、同時あるいは時間がたってから新たに別のがんを発症すること

安全・安心で質の高い医療を受けていただく観点から、あってはならないことであり、重大かつ深刻に受け止めております。当該患者及びそのご家族に対し、心から深くお詫び申し上げます。

このたび、院内の医療安全関係会議や外部委員を含めた事故調査委員会において、当該事案の発生原因を究明するとともに再発防止策について検討を重ね、報告書に取りまとめましたので公表いたします。

今後、患者の治療に全力を尽くすとともに、人的およびシステムによる安全体制構築と府民の信頼回復に努めてまいります。

1 経過

- 2023年5月中旬 頭頸部外科を紹介受診
- 2023年5月下旬 PET-CT検査にて、中咽頭癌+リンパ節転移と診断
- 2023年5月下旬 頭頸部外科より中咽頭癌の治療を本人と配偶者へ説明し、入院予定
- 2023年5月下旬 頭頸部外科の依頼により、消化管内科にて内視鏡検査を実施
- 2023年5月下旬 頭頸部外科・放射線腫瘍科の定例カンファレンス
⇒中咽頭癌 stage IIIと多発する食道表在癌の治療を検討し、食道癌は中咽頭癌に対する治療後に開始する方針となる
- 2023年6月上旬 消化管内科にて、内視鏡報告書を検討
⇒多発する食道癌 stage I
- 2023年6月中旬 頭頸部外科の入院にて、中咽頭癌に対する化学放射線療法を開始
※食道癌の説明をするべきところ、説明していなかった
- 2023年8月上旬 中咽頭癌に対する化学放射線療法が終了
- 2023年9月頃 ※食道癌の治療を開始すべきところ、開始していなかった
- 2023年8月～12月 外来通院 6回
- 2024年1月中旬 消化管内科より頭頸部外科へ連絡があり、食道癌の治療遅れが発覚
- 2024年1月中旬 頭頸部外科より本人と配偶者へ食道癌の治療遅れについて説明・謝罪
- 2024年1月中旬 消化管内科にて、内視鏡検査を実施
- 2024年1月中旬 術前化学療法開始
- 2024年3月上旬 PET-CT検査にて、食道癌+リンパ節転移の疑い
- 2024年3月下旬 食道癌手術を実施
- 2024年4月上旬 病理結果から傍大動脈リンパ節転移の食道癌 stage IVと診断
- 2024年5月以降 通院治療中

2 原因

- (1) 頭頸部外科において患者説明の有無や食道癌の治療時期についての確認を行う体制が取られていなかった。
- (2) 頭頸部外科・放射線腫瘍科の定例カンファレンスと、消化管内科のカンファレンスが別々に行われており、診療科間での連携体制や情報共有体制が不十分であった。

3 再発防止策

- (1) 重複癌が診断された段階で、検査依頼医が患者に対して検査結果を説明し、同時に電子カルテの患者掲示板に記載して情報共有を図る。
また、連絡を受けた消化管内科は、適切な時期の再診予約を行う。
- (2) 頭頸部外科では重複癌症例リストを作成し、次のダブルチェックを行う。
 - ①当該診療科において、初診患者全員に対して、初診から2か月後に消化管内視鏡検査の有無をリストに記入する。
 - ②当該診療科において、月別担当医が消化管内視鏡検査のうち、生検の悪性所見の有無を確認し、悪性所見があればコンサルテーションや治療の有無をリストに追記し、コンサルテーション漏れがないかを確認する。
 - ③毎週のカンファレンスで月別担当医の遂行状況を確認する。

お問い合わせ

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

大阪市中央区大手前 3-1-69

電話 06-6945-1181 (代表)